

日本史籍講読6－Ⅳ

科目ナンバリング JPH-412
選択必修 2単位

山下 須美礼

1. 授業の概要(ねらい)

幕末維新期に記された史料をテキストとして、史料の読解力を養い、史料の背景にある時代状況や地域の在りようについて調査し、考察する力を身につける。史料は、戊辰戦争時の諸藩の記録を取り上げる。各自一つの史料(一つの藩)を担当して、段階的に3回発表を行うことで内容の理解を深めるとともに、調査方法を自ら探索していく。他の受講者の担当史料についても、自分の担当箇所と対照させながら互いに活発に議論を行い、それぞれの大名家・地域社会における対応の諸相を考察することで、幕末維新期に対する理解を深める。

2. 授業の到達目標

近世史料の読解力を養うとともに、関連する史料や文献の探し方、調べ方を習得する。

3. 成績評価の方法および基準

- ①予習に基づいた、毎回の授業への参加度(25%)
- ②発表担当の際の準備度合いおよびその発表内容(50%)
- ③秋期末に提出するレポートの内容(25%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

若尾俊平 図録 古文書入門事典 柏書房

奈倉哲三, 保谷徹, 箱石大 戊辰戦争の新視点 世界・政治 吉川弘文館

奈倉哲三, 保谷徹, 箱石大 戊辰戦争の新視点 軍事・民衆 吉川弘文館

箱石大 戊辰戦争の史料学 勉誠出版

保谷徹 戊辰戦争 戦争の日本史18 吉川弘文館

佐藤竜一 シリーズ藩物語 [別冊] それぞれの戊辰戦争 現代書館

5. 準備学修の内容

発表者が担当する史料について、各自で読み方や意味を調べ、文意と内容を把握して授業に臨む。必要に応じて他の史料や参考文献にあたり、背景となる政治や社会状況についても説明できるようにする。授業内で配布するプリントで、読み方や内容をチェックする。

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回の予習は必須である。
- ・史料の読み方や内容を確認し、分からないところをはっきりさせた上で授業に参加すること。
- ・質疑応答への参加も必須。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイドンス(テキスト・参考文献の紹介・授業の進め方・評価の仕方)
- 【第2回】 プレ発表①: 担当する史料の概要
- 【第3回】 プレ発表②: 担当する史料の概要
- 【第4回】 プレ発表③: 担当する史料の概要
- 【第5回】 本発表①: 史料の読解と調査・考察の報告
- 【第6回】 本発表②: 史料の読解と調査・考察の報告
- 【第7回】 本発表③: 史料の読解と調査・考察の報告
- 【第8回】 本発表④: 史料の読解と調査・考察の報告
- 【第9回】 本発表⑤: 史料の読解と調査・考察の報告
- 【第10回】 本発表⑥: 史料の読解と調査・考察の報告
- 【第11回】 本発表⑦: 史料の読解と調査・考察の報告
- 【第12回】 補足発表①: 本発表の補足
- 【第13回】 補足発表②: 本発表の補足
- 【第14回】 補足発表③: 本発表の補足
- 【第15回】 授業のまとめとレポート提出